

『身寄り』問題に関する取り組み

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会

身寄り問題委員会

廣野拓 六反栄子

2021/8/26

1.医療ソーシャルワーカーとは

◎医療が必要な場面・・・病気以外への影響

- 仕事
- 家庭
- 経済面
- 学業
- 住まい
- 介護



不安

医療機関に居る
これらの解決策を
一緒に考える**福祉職**

保有資格：社会福祉士、精神保健福祉士など

2. 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会

- 設立：1963年（満58歳）
- 初代会長：鹿児島市中央保健所長
- 会員：医療ソーシャルワーカー現任者
- 会員数：約190名（R2年度現在）
- 所属機関：一般科/精神科病院、クリニック
介護/障がい者施設等

3.協会活動について

- 活動目的

⇒ 住民及び地域の福利の向上

- 活動内容

①会員の資質向上

②関係機関・団体との連携

③研究調査

④福祉フェスタ等の地域活動

⑤MSW間のネットワーク構築 など

4.MSW業務において

◎身寄り不在の患者は存在していた

- 受診、受療援助
- 経済問題の解決、調整援助
- 退院援助

- 多様性の尊重
- 権利擁護

業務指針

倫理綱領

個々の患者支援として業務実践

5.研修会での気づき

- 支援事例はどこにでもある
⇒ 点から線へ
- 身寄り不在は社会的課題という認識
⇒ 線から面へ



『身寄り問題』として意識化

6.身寄り問題への取り組み

◎鹿児島つながる相談会へ会員派遣

⇒ 身寄り問題の社会化を再認識

◎平成29年度 県内医療機関の実態調査に協力

⇒ 身寄り(保証人)不在・・・過去1年間:いた **62%**

- 医療同意
- 退院、転院先の確保
- 入退院時の手続き
- 入院費の支払い

マニュアル化・・・6%

7.活動の拡大

- 日本医療ソーシャルワーク学会in鹿児島 基調講演 H30年
- 快護生活フェス！鹿児島 セミナー開催 H30年
- MSW協会内に身寄り問題委員会を設立 R2年
- 伊佐市社会福祉士のつどい 研修協力 R2年
- 川内市医師会広報誌で啓蒙 R3年

- H30～令和2年度 厚生労働省社会福祉推進事業に参加
⇒ 調査研究を経て「手引き」が完成

- 「手引き」を地域づくり、院内マニュアルへ
⇒ 「手引き」活用のための研修会 R3年度内企画

活動目的：住民及び地域の福利向上



ご清聴ありがとうございました